



こばやし さよこ  
小林小夜子

学校心理・発達健康教育コース教授

子どもが授業に集中できない原因は何でしょうか。また、効果的な対処法はあるのでしょうか。

**授**業に集中できない原因として子ども自身、教員、さらに音や光、気温や湿度といった外部環境などが挙げられます。

子ども自身に原因がある場合、食事や睡眠といった生活リズムに由来するもの、興味関心に関するもの、課題の困難さに由来するものなどが考えられます。教員が原因の場合は、教材研究の不備に由来するもの、声の大きさや板書の仕方など教員としての資質能力に由来するものなど、いわゆる「授業力」に関することが考えられます。そして、意外に忘れがちなのが外部環境です。室温に着目した教室環境と学習効果に関する研究では、学習効率は相対的に高温側より低温側で低下する傾向が確認されています。換気



や過ごしやすい衣服、体温調整のための工夫など、教室環境を整えることも授業に集中させるための対処法として挙げられます。

最後にクラス全体を集中させるための具体的対処法の一つとして、幼児教育で用いられている方法を紹介します。にぎにぎしい保育室にあって、子どもたちはピアノなどの合図で定位置に着き、目を閉じます。保育者は子どもの落ち着き具合を見計らって、曲に合わせて出席を取り、曲調を

変化させながら子どもたちに静けさを取り戻させたとところで目を開かせ、活動を開始します。

目を閉じて静かに開始を待つという方法は幼児期の子どもたちに非常に効果的です。小中学校でもふさわしい実施方法に変えて試されることをお勧めします。

※日本建築学会九州支部研究報告書(49-413-416)より。  
佐々木英幸、伊藤一秀、須藤美音(2010年)

## キャンパストピックス

### CAMPUS TOPICS

安原一樹准教授に  
社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)  
神戸市の社会教育活動を推進



昨年12月、安原一樹准教授(心の教育実践コース)が、文部科学省の平成22(2010)年度社会教育功労者表彰を受けた。同表彰は、地域における社会教育活動を推進するため、多

年にわたり社会教育の振興に功績のあった者をたたえるというもの。安原准教授は神戸市社会教育委員会議委員(議長)として、神戸市の社会教育・生涯学習の推進に貢献。また、神戸市教育振興基本計画の策定に参画したことも高く評価された。

学校支援カウンセラーの  
チームを結成し  
岩手県の被災地へ

東日本大震災の支援活動として、臨床心理学コースの富永良喜教授と市井雅哉教授をスーパーバイザーに、臨床心理士の資格を持つ本学教員、修了生による学校支援カウンセラーチームを3組編成。岩手県教育委員会の「スクールカウンセラー緊急派遣事業」に参画し、5月9日から6週間、大船渡市の小中学校6校でセルフケアの伝達や教職員のサポートなどの支援活動に取り組んでいる。



浅川潔司教授に  
兵庫県功労者表彰  
不登校支援などに尽力



5月3日、浅川潔司教授(学校心理・発達健康教育コース)が井戸敏三知事から平成23(2011)年兵庫県功労者(教育功労)に表彰された。この表彰は、県内の教育振興に顕著な実績を挙げ、広く県民の模範となるべき者をたたえるもの。浅川教授は昭和50(1975)年から発達心理学の領域の研究を開始。10年以上にわたって、県内の公立中学校や県立高校のカウンセラーを務め、不登校児童生徒の回復支援や生徒の学校生活の支援に尽力した。